

七沢療育園便り

第98号

2021年3月発行

発行責任者

栗原まな

神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢療育園
〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516

電話 046-249-2720

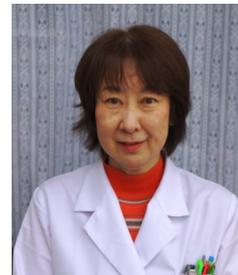
ファックス 046-249-2739

ホームページ <http://www.n-ryoikuen.kanagawa-refab.or.jp/>

メールアドレス ryoikuen@kanagawa-rehab.or.jp

七沢療育園での楽しかった日々

栗原まな



コロナ禍で1年以上も保護者会を開催していない中、保護者のみなさまには突然のお知らせになってしまいますが、私は本年3月をもちまして七沢療育園の園長を退くことになりました。一昨年6月から札幌で単身赴任をしている同じく小児科医の夫が「そろそろ札幌に来ない?」と強く願っているので、私も札幌を拠点にしようと思うようになりました。私事ですが、ドイツで仕事をしておりドイツの永住権をもっているトロンボーン吹きの子供が日本に住民票をもっていないことから、今私が住んでいる厚木の家(ここに住民票の代わりにしています)も大切にとっておかないとならないことと、月に2回東京で重要な仕事を続けることから、当分は神奈川リハの外來もお手伝いさせていただくつもりです。

私が神奈川リハに来たのは昭和64年1月。今年で33年目です。当時から七沢療育園に入所していた方もまだ沢山います。七沢療育園は神奈川リハ病院の9階にあり、左右のA棟B棟に分かれていましたが、赴任してきた1日目からA棟の受け持ちになり、入所者の半分の主治医になりました。私も入所者の方も若かった時代で、屋外レクリエーションでみかん狩りにでかけた時に大型バス(当時はセンターに大型バスがありました)がみかん山からバックできなくなったり、宿泊行事で長期入所中の○○さんと一緒にビールを飲んだり、楽しかった思い出が山ほどあります。一時期小児科医が確保できず、私と非常勤医師だけで繋ぎ、夏休みはわずか1日というつらい時期もありましたが、今は何とか小児科医も確保できております。しかし小児科医はあいかわらずの不足状態が続いていますので、今後安泰という訳ではありません。

平成10年4月に七沢療育園は9階から地上に降りてきて、安全面は随分と良くなりました。

平成の時代には、太陽の門、ワゲン療育病院、ライフゆう、横浜医療福祉センター港南が新たに重度障害の方の入所施設を開所し、該当地域の方たちが多数七沢療育園から移って行かれました。長い間一緒に過ごしていた方たちと別れるのが悲しかったのも忘れられません。

私が七沢療育園の園長をしていたのは7年間に過ぎませんが、その間、骨折対策チームを作って骨折の頻度を減らすことができたり(チームはセンターから表彰されましたね!)、摂食ラウンド(個別支援会議に合わせて医師、看護師、支援員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士がチームで昼食状況を評価)を定例化したり、補装具の作製に関して病院リハ部と連絡会を開始したりと、体制を少し整えることができました。看護科と支援課の連携も以前に増して良くなっていると思っています。

この七沢療育園に33年間も関わりをもてて本当に嬉しく楽しかったと思っています。

どうぞみなさまお元気で、充実した日々をお過ごし下さい。いろいろとありがとうございました。

園長、33年間ありがとうございました!

退職者・異動者よりメッセージ

2003年8月～2007年3月までの5年間、2012年3月16日～2021年3月まで療育園には約10年間在籍。この度定年を迎え退職となりました。利用者さんとそのご家族、そして多くのスタッフと出会い、共にして仕事ができたと感謝しています。本当にありがとうございました。

看護課 丸谷孝子

約2年間療育園でお世話になりました。年度途中での異動、コロナ渦のため皆様にしちんとご挨拶できずに申し訳ありません。療育園は、看護師として大変な面もありましたが、とても楽しく働かせてもらったと思います。ありがとうございました。また、療育園で働ける機会があることを祈って慣れない環境で頑張っていきたいと思います。 看護課 坂元千佳

3年間ありがとうございました。

看護課 趙佳岐

七沢療育園の4年間は新たな経験と学ぶことが多い楽しい時間でした。利用者の方たちの笑顔や、ご家族の献身的で深い愛情に満ちた言動に心動かされることがしばしばでした。利用者、家族、スタッフの皆様の幸せを祈念しております。有難うございました。

支援課 生方克之

このたび、七沢学園へ異動することとなりました。最後の1年はみなさんにお会いすることができず残念でしたが、10年間ほんとうに楽しく仕事させていただきました。ありがとうございました。 支援課 秋澤真人

2度目の療育園での短い間でしたが、皆様の声のひとつひとつに楽しさ、嬉しさ、何よりも元気を感ぜさせて頂いた日々でした。皆様の一人一人にありがとうございました。

支援課 小室美佐子

神奈リハに勤め40年。最後の6年間は療育園で良かったです。戸惑いも多くありましたが、皆さんが全身で教えてくれ、本当に助かりました。療育園はご家族の愛情とボランティアさん、様々な方々に支えられている所だと実感します。これからも益々お元気で楽しく過ごしていられることを願っています。 看護課 入江純子

久々の再登場でしたが、約半年お世話になりました。

御家族の皆様にお会いできず、残念です。

看護課 平出千賀子

利用者さんやご家族の方々と同じ時間を過ごせて良かったです。2年間ありがとうございました。 看護課 竹田あゆみ

勉強熱心な実習生が「この人達はどれくらい解りますか?」との質問に「全て解ります。利用者は関わりに対して全て返事をしていきます。ただ 私やあなたを受け取る力が不足しているのです。」と指導している先輩がいました。また 「声なき者の声を聞け」とも、それが療育園の根幹にあるものだと思います。利用者のシグナルを受け取るアンテナを広げる様に、心がけましたが至りませんでした。それでも長い間置いていただきありがとうございました。 新しい風が吹き花咲く療育園の未来が見えます。 支援課 手塚香代子

20年ぶりの1年間お世話になりました。利用者さん、職員、懐かしい顔ぶれにお会いでき、嬉しかったです。ただコロナウイルスの影響で保護者の方にお会いできず、開所3年目の入職で懐かしい話がいっぱいできたのにと考えると残念でした。

支援課 小泉美紀子

1月10日 全体活動

お汁粉パーティー

鏡開きということで、お汁粉を食べました！

職員による昔話を聞きながら食べるお汁粉は格別でした♪

お餅のかわりにたまごボーロを浸していただきました。



1月下旬 個別活動

書初め

緊急事態宣言が発令され、全体活動を行う事が出来なくなってしまいましたが、個別での活動を回数を増やし行っています。

家族への愛や好きなこと、型にハマることなく、（時に英語で!?)

自由に書きました♪



何を書こうかしら？



1月&2月の誕生者の皆さま



残念ながら、全体で集まってのお祝いはい出来ませんが、個別で盛大にお祝いしています！



1月27日、療育園に新しい仲間がやってきました！



4月の予定

- | | | | |
|-----|--------|-----|------|
| 7日 | 救急訓練 | 20日 | 美容 |
| 11日 | 全体活動 | 21日 | 避難訓練 |
| 12日 | 理容 | 28日 | 誕生日会 |
| 18日 | ニコニコ会議 | | |

編集後記

1月から3月にかけて、緊急事態宣言が発令され、園全体での活動ができなくなってしまいました。利用者の方、職員共に元気に明るく過ごしています。読んで下さった皆様のご健康を切に願っております。

大崎